

平成30年度 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業の取組

障害のある方への教育施策は特別支援学校等の学校教育の場を中心に展開してきたが、生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備・充実が急務である。そこで、効果的な学習プログラムの開発やその実施体制の研究に取り組み、その成果を普及することで、県内全域にわたる学校卒業後における学びの充実を目指す。

特別支援学校における取組

県立特別支援学校市川大野高等学園を拠点にして、卒業生や近隣在住の知的障害者を対象とした「生涯学習講座」を開催した。企画については関係者で「特別支援学校広域同窓会連絡協議会」を設置して協議するとともに卒業生のニーズ調査結果をもとに内容を決定した。また、運営に当たっては近隣住民や公民館と連携し協働的に実践した。

| 講座名 | 講師 |
|------------|----------------|
| いきいきテニス | 北市川スポーツクラブ |
| グラウンドゴルフ | 大野4丁目自治会緑風会 |
| リンパdeデトックス | 健康運動指導士(公民館講師) |
| 紅茶の世界 | 紅茶アドバイザー(近隣在住) |



さわやかちば県民プラザにおける取組

さわやかちば県民プラザ(県生涯学習センター)において、これまで15年にわたり青年教室を実施してきたが、今年度から、受講者のニーズに応える形で、ヘルマンハーブ(五線譜が読めなくてもすぐに弾けるよう開発された楽器)を用いて、演奏体験型の音楽ワークショップを実施した。



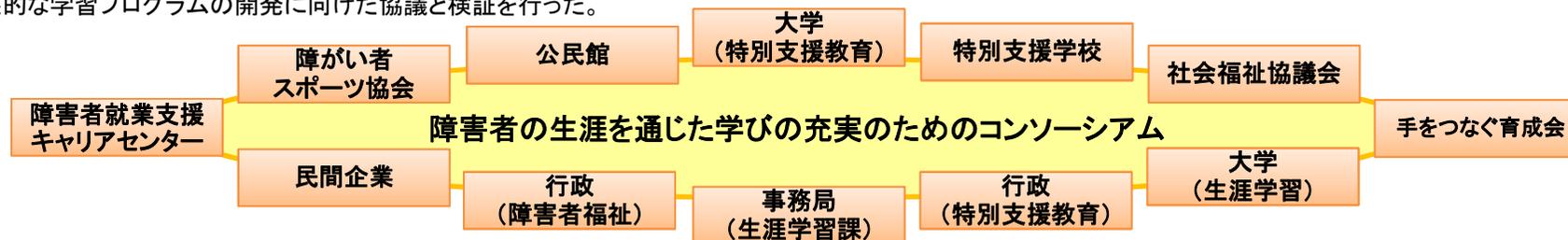
♪さわやかおんがく隊♪の目標

- メロディーを奏でる喜び
- 上達やコンサート開催による達成感
- リーダー育成による自主サークル化支援
- ボランティア研修による指導者養成
- 地域行事や楽団との連携



障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム

関係団体代表者による連携組織としてコンソーシアムを設置し、年4回の会議を通して、先進事例研究や情報交換により連携体制の構築・強化を図るとともに、効果的な学習プログラムの開発に向けた協議と検証を行った。



障害者の生涯学習推進フォーラム

県内の関係者・当事者等に向けて1年間の事業報告や記念講演等を実施した。



全体の様子



記念講演



体感的公演

成果の普及・啓発

1年間の研究報告書を作成し、福祉や雇用等の関係部局、市町村、公民館等の社会教育施設、特別支援学校、社会福祉法人その他関係機関にも広く配付する。

市町村担当者から人材不足が指摘されていることを踏まえ、今後は、報告書も活用しながら、市町村社会教育・生涯学習主管課長会議や社会教育主事等の研修会において、障害のある方の学びの充実に関する研修を実施し、人材養成・育成を図ることで、県内全域にわたる普及を目指す。